

志高錬成

～志を高く持ち、
よりよい成果を得るために、
粘り強く自分を鍛える～



令和8年9月17日 15号

佐久市立浅科中学校 文責：中島

「『当たり前のこと』だからこそ『ありがとう』だと私は思うのです・・・」

明日より清流祭が始まります。今まで、生徒会を中心に明日からの2日間に向けて準備を進めてきました。当日は天気もそうですが、みなさん一人ひとりが「充実感」と「達成感」を感じられる2日間になると良いなあ～って思っています。今回の「志向錬成」は、清流祭を明日に控えたみなさんに考えて欲しいことがあります。下に載せた、みなさんにとってはお馴染み(?)の「キャラクター」の話から、みなさんにとって「当たり前って何だろう?」ってことを考えて欲しいと思っています。私としては、下に載せた文章を読んで「そうだよなあ～」って思っ欲しいと心から思っています。

※著作権の都合上、非表示にして掲載しております。ご了承ください。

上に載せたものは、以前、関東地方の駅に貼られていたポスターです。ご存じ(?)「クレヨンしんちゃん」がお母さんに向けて発している言葉です。ちなみに、このポスターには下に載せた文章が添えられていました。そちらの方も載せておきますので、ちょっと読んでみてください。

【ポスターに書かれている文章（一部抜粋）】

子どもにとっては、楽しい楽しい夏休み。けれど、お母さんにとっては...ちょっと大変な夏休みでもあります。子どもたちとの遊びに奮闘しながら掃除、洗濯、三度の食事。朝ごはんが終われば、お昼ごはん。お昼ごはんが終われば、夜ごはん。献立を考えて買い物に行き、料理をする。しかも、夏のキッチンの暑さといったら…。家族族で旅行に出かけたり、子どもたちと過ごす時間が増える。それはとても喜ばしいことだけど、夏休みの家事や育児の大変さは、令和になっても なかなか変わりません。

このポスターを製作したのは、食品宅配などを行っている企業です。「夏休み（だけではないけれど）が大変なお母さんの手助けになれば…」という気持ちが上に載せたポスターからは感じられると私は思っています。ポスターについて、こんな裏面に載せたような話も載っていましたので読んでみてください。

先月から春日部駅に貼り出されている計10枚のポスター。しんのすけが描かれていて、キャッチコピーは以下の3種類です。

「かあちゃん、楽しい夏休みをありがとう」

「かあちゃんの夏休みはいつなんだろう」

「かあちゃんがもっと楽しく過ごせたら夏休みはもっと楽しい」

掲出初日、このポスターを撮影した画像がツイッターに投稿されると、「お母さんじゃないのに泣きそう」「電車内で見ちゃって必死に堪えてます」といったコメントが寄せられ、いいねが10万近く押されているツイートもあります。担当者に聞きました「1週間限定で、野原家が住む街である春日部駅に掲出しています」そう話すのは、オイシックス・ラ・大地の統合マーケティング本部の本部長・井上政人さん。このポスターは、食品宅配などを手がけるOisixの広告として制作されたものです。

以前、母・みさえや父・ひろしとコラボレーションした交通広告を春日部駅などに掲出したOisix。今回は、夏休みを乗り越えたお母さんたちに向けて企画したそうです。担当者は「こどもにとっては楽しい夏休みですが、ママたちにとっては毎日3食の料理やお弁当、それに伴う献立や買い物など大変な毎日になる夏休み。Oisixだからこそ出来ることがあるのではないかと、Oisixだからできるサポートをしたいと考え、企画しました」とのことでした。メッセージについては「誰から言葉を掛けられるのが一番嬉しいか？」と考えた結果「やっぱり子どもたちからだろう」としんちゃんを通じてメッセージを発信することにしたそうです。また、どういうメッセージにするとママたちに届き「夏休み大変だったけど楽しかったな」と思ってもらえるかという点も苦労したそうです。このポスターが話題になったことについては、こう話しています。「メッセージを作っている段階から、このメッセージをママたちに届けたいと考えていました。届いていることは素直にうれしいですし、多くの方が共感してくださっているのもうれしいです」

世の中には「当たり前」という言葉で簡単に片付けられてしまうことが多くあるような気がします。それは、みなさんの生活でも同じではないでしょうか。「～は～係（委員）の仕事だから、～係（委員）がやれば良い」「生徒会の活動は生徒会三役や役員が考えているんだから、三役や役員がやれば良い（まあ、こんな風に考えている人は少ないと思うけれど…）」「自分はテスト勉強が忙しいから、家のことはお母さん（または自分以外の人）がやれば良い」…など、こんな気持ちになった人はいませんか？。私は、上に載せた言葉には「自分はやらなくてもいい」「自分には関係ない」という気持ちが見え隠れしているように思います。自分たちが生活している社会には、たくさんの「おかげさまで」があるのです。そして「誰かにやってもらっているんだから、今度は自分がやる番だ！」って思える人になって欲しいと思います。

「クレヨンしんちゃんと清流祭に何の関係が…??？」と思った人もいるかもしれませんが大あります(笑)。ちなみに、清流祭って誰のため・何のために行われるのでしょうか？。特定の「誰かのため」に清流祭が行われるとしたら、それは間違っています。文化祭に限らず、みなさんはいろいろな所でいろんな人と協力しながら日々の生活をしています。今、自分が生活している「後ろ側」では、必ず「誰か」が皆さんを支えてくれているのです。これは清流祭も同じです。皆さん一人ひとりが協力し、皆さん一人ひとりが充実感を得られる清流祭であって欲しい。だから、この2日間で「手伝おうか？」「一緒にやろうよ！！」「楽しかったね！」という声が学校中に響くことを私は心から願っています。「みんな」で清流祭を成功させましょう！！。

